発行所
関西大学校友会
大阪市大淀区長柄中通二丁目
編集発行人 長柄金吾
電話堀川㊱代表2072番
振替口座大阪 55594番

御挨拶

今春御卒業の皆様に

会長 大月 伸

皆様がたには勉学にいそしまれた四年間を経ていまやその功なり目前に栄ある御卒業を控えられるにいたりましたことは私ども校友としましてまことに慶賀にたえません。

関西大学を卒業したもので組織されております関西大学校友会は、創立明治十九年、七十有余年の永い歴史と輝やかしい伝統を有する母校とともに今日まで苦楽をともに歩んで参りました。校友会が母校とは切っても切れぬ深い関係をもち、母校の苦難を共に苦難し、母校の発展に大きな貢献をした永い歴史は、ここに皆様の御卒業を祝って刊行いたしました本紙をお読みいただけば瞭然とすると存じます。

しかし、今日を築くに至りますまでには第二次世界大戦を中心とした不幸な数年間をはじめ数々の苦難もありました。混沌としたなかにあって力強く再建の杭を槌音高く打ちこみました。学制改革があり、学校法人法施行により関西大学でも改組が行われ、校友が大学行政に参画するようになりました。

そして以来、校友会は再建され、充実へ母校と歩調を揃えて進んできたのであります。各地で支部は続々整備強化、増設され校友の関心もこと数年、頓に高まっております。

校友数も年々増加し、今春御卒業の皆様がたをあわせると実に六萬七千余の多きに達するのであります。校友会永年の懸案である会館建設問題も、母校と協力して「関大会館」を建設することにまとまり、すでに大阪の中心地・南区八幡筋の堺筋に面した一角にその用地をもつにいたりました。

このように校友会と母校の関係は日に日に密接になって参ります。もちろん、もとより私学において卒業生とその母校との関係は物心両面にわたり非常に密接でとても官公立の比でないことは明らかであります。

すでに関西大学の校友とその家族を併せると三十数萬を超す膨大な数が予想される現在であります。近頃では地元大阪はもとより日本全土にわたって、大血縁社会―関大一家―のシンボルである校友バッジを胸に輝かせ、大活躍している校友が数多みられるようになりました。

また校友会では毎月新聞「関大」を発行し会員にお届けしております。

皆様が御卒業され、お仕事で如何に遠い地にあって御活躍されるとしても、その地の支部が皆様がたを温かく迎え、親睦の手を結び、そしてこの新聞が関心のある数々のニュースをもたらすことと確信しております。

七十有余年の歴史と傳統の上に立って飛躍を重ねる母校とともに歩んだ校友会をうけつぎ、更に発展せしめてゆくには今春卒業される若い情熱あふれる皆様がたの力に俟たねばなりません。就きましては晴れて御卒業されるに当って御祝詞を申しのべ、あわせて校友会の一員として御入会されますよう御案内申上げる次第でございます。

祝卒業 歓迎入会 記念号

母校と苦楽を共に 輝かしい歴史と伝統

その歴史

校友会の発生素因は僅か十七名の一回生から

校友会ができあがった素因は、いうまでもなく第一回卒業生を送りだしたときにさかのぼる。すなわち母校の前身、関西法律学校が遠く明治19年11月、大阪京町堀「願宗寺」で産声をあげたのは既にご承知の通り。

日本憲法の神と仰ぐあがめられている児島惟謙の賛助によって関西唯一の法律学校として衆目を集めて発足した本学は明治22年第一回の卒業式を、時の文相榎本武揚の臨席を得て挙行し、輝かしい第一回生「17名の校友」を世に送った。かこの時すでに校友会発足の種子が植えられたわけである。

明治三十年に記念すべき初の校友総会開かる

その種子はその後年々卒業する校友の母校愛を得て育ち、その双葉が明治33年12月に芽をふいた。すなわち北区菅原町「相生楼」で記念すべき第一回の校友総会が開催されたのである。時すでに卒業は九期に達し、その数も二〇八名に及んだ。

なおこの席上で十二条からなる校友会会則が決定したが、その会則はその後数度の改訂を経たが、昭和13年まで四十数年間の校友会活動の根幹となったものである。

またこの総会は永い間校友会活動の中心的存在だった校友会大阪支部を発祥した動機をなした記念すべき総会であった。

新しい校舎が江戸堀に完成

前後17年間にわたり興正寺が校舎にあてられていたが、専門学校令が公布され、それによる認可を受けるため独立校舎の必要に迫られたが歳入わずかに四、五千円の学校財政では二、四万円もする新築はとても至難の業であった。しかし校友はじめ、講師、学生が一丸となって協力した結果、明治36年江戸堀北通一丁目に新校舎を完成することができた。ここでわずか三年間の江戸堀時代がはじまるが校舎完成による専門学校令への準拠は本学の七十年史上にその発展の一時期を画する重大な事件であった。この時代に学部は増設され「私立関西大学」と改称た。江戸堀校舎は市電南北線敷設のため大阪市に移譲して福島に転じた。

福島から天六を経て千里山総合学園へ

明治39年12月、学舎は福島に移転したが、その後も相変らず夜間学校で、消長もなく十数年が過ぎた。大学令大学への昇格運動もなかなかさかんでたびたび新聞面を賑わしたりした。大正九年、織田万博士が学長のとき大学昇格委員会を設け、千里山に校地を定めて新校舎建築に着手し大正11年完成した。これを期に母校は過去35年間の夜間学校から昼間授業をもつ学校に飛躍的発展をしたのである。また大学令による大学の認可もあり、創立後三十余年を経、校友数も漸増し在学生数も千名をこえるにいたった。

「関西学報」が支部設立に貢献した

校友会はこのようにして徐々にその組織を固め、規模を増大し着実に母校とともに発展したがそれを助けたものに「関西学報」があった。これは「校内校外の消息を伝えて学校と校友の間の連絡を全うすることを図るが主たる目的」として明治43年12月15日創刊された。

この学報は年刊誌ではあったが学内行事はじめ校友の消息、活動等を掲載したため校友の組織化促進に大いに貢献した。このように「関西学報」はその使命を十分に果した点でも意義深い画期的な事業であったことを認識しなくてはならぬだろう。その結果として明治末期は全国各地の校友の間で支部を結成する動きがみえてきたのであった。

各地に地域支部が誕生し始めた

初の総会が明治30年に開かれたことは先にのべたが「関西学報」の影響等があって各地で支部が結成される動きが現われてきた。明治44年7月8日、第23回卒業式後に新卒業生あわせて約二百名が出席して盛大な校友会懇親会が行われている。同年12月、東京支部が九段「富士見軒」で産声をあげ翌45年1月には東海支部が名古屋で総会を開き、続いて3月には岡山支部が後楽園で発会している。

このあと広島、長崎、和歌山、京都、山陰、宮津などの各地に相次いで支部が結成されている。

大学の地元である大阪支部は、明治30年12月の第一回校友総会に端を発するが結成式は大正2年11月に中之島「銀水荘」で盛会を極めて開催されている。

このようにしてできた各地の支部は母校発展のための拡充資金の募集にも協力するなど大いに寄与したことは注目すべきである。これらはいずれも「関西学報」の刊行ときりはなして考えることはできない。

当時の会則はどんな性格を持っていたか

明治30年に開かれた第一回総会席上で可決された「校友会会則」はどんなものであっただろうか。これは十二条から成り昭和13年に改訂されるまで根本的な変革はなく三十数年間、その生命を保った。当時の会則をひらいてみると目的として「本会ハ会員ノ名誉ヲ維持シ併セテ関西大学ノ隆盛ヲ計ルヲ以テ目的トス」としている。

また母校の事業をたすけるためにその諮問に応えたり、建議したりすることが規定され、また母校に在学する学生を保護したり、校外活動を監督したりすることも規定されていた。役員としては会長の外に常議員があり、会長は学長が兼務することになっており、組織はあっても大きい事業は全くできない状態であった。校友会事務も母校庶務課、教務課等で扱っていたうえ、会員名簿も昭和4年にやっと校友会独自で発行することができた。

昭和十三年ついに会則が改正された

昭和初年に構成された大学理事会は第一次世界大戦を経る頃まで歴代強大な権力をもち、財政に関しては一切発言を許さなかったほどであった。そのため財政は健全ではあったが、いやしくも大学経営はこれでよいのだろうかという意見がでて、これに対しては校友が結集するより外にないということになった。そして昭和13年、会則改正にいたったわけである。ここで改正された会則はその後現在にいたるまで再二改められはしたものの永く校友会活動の基本となった。そしてその後全国的に支部結成がすすみ、時代の風潮にものって台湾、京城、大連、新京、南京上海、青島などの外地にも続々と支部ができあがった。

戦時態勢下に関西工業専門学校を創立す

その後、校友会の活動は活発となり、校友の団結の力はもりあがり、満州事変から支那事変と時局はいよいよ重大化し、理工科系学校の設立の要望が高まり、時の校友会常議員会は実行委員会を設置して全国理工科系大学の資料を蒐集し、また大阪工専、堺高工を調査見学して資料をまとめて理事者に当り、遂に工業専門学校の設立をかちとるにいたった。時勢が然らしめたとはいえ、校友会がこのように大学理事者を動かす強い実力をもつようになったのである。

惜くも戦争緊迫して校友会活動もとまる

第二次世界大戦は急迫を告げ、学生は学業を抛棄して動労動員としてかりだされ、学徒も相ひいで出陣した。しかも文部省が、文科系大学は戦争に寄与せずとして入学者の定員を極度に圧えられたため在学生数は三分の一に激減した。教職員も半減し、そのため校友会は事務担当者を失い、校友会活動は全く停止し、終戦時の混乱期に突入することになった。この第二次大戦の殿手を校友会も例外なく受け、それが永く尾をひいて残ったわけである。

混乱の中に力強い校友会再建の槌音

終戦後、正井学長からバトンが岩崎教授に渡された。母校卒業生から初めて選出された学長である。学長は「われらの関西大学はいま文化的ルネッサンスのあけぼのを迎えんとしている」と叫び、今後の日本を背負ってたつ青年学徒にその指導理念を示した。学長は学内整備に着手し、大学事務機構のなかに校友課が新設された。この校友課は当時なお混乱した時局のなかにあって、戦争で途絶えた校友との連絡にとりかかった。そのため校友会はめざましい立直りと発展をみせ、昭和三十二年六月、校友会事務局が創設されるまでずっと校友会の事務処理を行った。終戦当時の卒業生数は二万数千名であった。

新学制が布かれ校友が大学経営の中心に

昭和26年、学校法人法が施行され従来の財団法人から組織が改められた。そして寄附行為によって大学経営の議決機関である評議員会を構成する評議員の六割を校友中から公選することになった。つまり、校友の大学経営への参画が実現したわけである。これを機に母校への関心が高まり解組同然だった支部、職域、同期会の復活、さらに新設も漸次増加するに至った。昭和28年、大学校友課の手によって終戦後初の校友名簿が発刊され、二万名が収録された。名簿はさらに校友会活動の活発化を促進した。

創立十年を迎え校友会は新聞「関大」創刊

昭和30年、母校は創立七十周年を迎えた。大学では昭和28年、第一期大学拡充五カ年計画をたてて、諸施設の改善充実に着手して大学院、大学ホールの新築、第二学舎の増築を完成した。この大事業の推進に際して母校では拡充資金の募集を行ったが校友会でもこの事業に積極的に後援し、全国各地の校友はその呼びかけに応え多額の寄附を行った。かくて第一学舎、図書館、尚志館、一高、天六体育館の新、増改築もなり、ここに母校は面目を一新した。校友会はこの母校の発展の一助をなし、同時にこの飛躍的充実に刺戦された校友会は割目の発展をとげ、校友意識が一段と高まった。このもりあがる母校愛と関心が結集して校友会機関紙「関大」が誕生した。ときに昭和30年5月、終戦後校友会が独自で行なった注目すべき事業であり、創刊号と第二号は住所判明全校友に配布された。「関大」はその後、各地の校友に浸透し、部数は年毎に増加の一途を辿り、ここに皆さまに「卒業記念号」として、臨時増刊第四―六号をお届けするに至った。

創立七十年を記念して校友総会を盛大に開く

このような事業に関心の高まった折も折、昭和30年11月3日、千里山第一学舎で七十周年を記念して校友総会が開催され、千余にのぼる校友が出席した。席上、大学発展に寄与された理事者に対して満場一致で「感謝決議」を行った。また校友会はここで自主性確立へ踏みだすため会則を改めて会長を総会で選出することにした。当時の会長であった岩崎学長は学務に専念するため任期途中で辞任、ここに公選による専任会長として大月伸氏が選ばれた。永いあいだ三十名で組織されていた常議員会は定員を五十名に増員して執行陣営を強化し、監事を設けて施策に遺憾のないようにした。

さらに六月、本格化してきた事務を処理するため事務局を設置した。

そして今日にいたる

以上のような経過を辿って校友会は現在の姿を築きあげるに至った。そして昨、昭和33年度校友総会では更に会則を改正した。

母校と歩んで70有余年 共に進んだ関大校友会とは？

栄ある会に一人残らず入会を!!

飛躍的発展をとげる〝会館〟建設に全力傾注

その現在

常議員会の組織と各部の活動は

現在の校友会は専任会長大月伸氏のもと岡野衛士、樫本信雄、長柄金吾の三副会長、執行機関として四十九名の常議員、六百数十名の代議員で役員を構成している。この執行機関は五部にわかれて会則第二条の主旨に添って活動を続けている。すなわち、総務、事業、広報、組織、財務に分れている。ここでこれらの執行機関の現在の活躍状況を説明してみると次のようである。

まず総務部では部員九名であり校友会則並びに諸規定に関する事務を取扱うほか、他の四部の計画活動の調整、校友の動態調査、各資料収集、調査統計などを行っている。またそのほか校友総会、代議員会、連絡部長会、その他各種委員会の開催に関することなど、校友会運営の心臓部として、スムースかつ活発的な活動をするため働いている。現在、部長は寒川喜一氏（昭8専一法・大阪府人事委員会事務局長）である。

事業部は校友会の各種事業を担当しているが、地方学術講演、映画・音楽会の開催などを行う一方、学生に対しては就職対策として各種試験のため実務講習会の開設に努め、その成果を着々とあげているほか、会員の慶弔、在学生の各種活動に対して援助するなどの活動を行っている。現在、部長は村上精三氏（昭5専経・大阪市阿倍野区長）である。

広報部は本紙「関大」の編集、発行を行なっている。「関大」は前述したように昭和30年5月創刊以来、校友会の機関紙として、広報P・Rは勿論、大学の情況報告、校友の動きなどを詳細に報じ、文字通り全国各地で活躍をつづける校友の新聞となった。その他過去には、野球に因んで雑誌「関々戦特集号」を刊行したり、年毎の卒業生におくる校友手帖の編集をしたりしている。また校友活動の普及宣伝、広報等一切がこの部の任務になっている。現在、部長は林信夫氏（昭7専英・毎日新聞大阪本社連絡部長）であり部員は九名である。

組織部は校友会活動の根源をなす支部、職域会、同期会等の組織化をはじめその機構の強化などに尽力している。またできる限り多くの校友に入会していただくために勧奨を続けており、昨年一昨年の卒業生からも学友会、各利益パート等の賛同と協力を得て多数の入会者があった。その他、渉外、組織に関することは当部の管轄である。現在、部長は門上敏夫氏（昭18大経・大阪与論調査研究所長）である。

財務部は説明するまでもなく経理事務、財産管理、金銭出納を行っており、以上の各部がその活動を円滑に運べるよう財務計画をたてて事務を処理している。スムースがつ活発な校友会活動はやはり校友が払込む校友会費による。そのため当部では校友会入会者の継続会費払込の便を計って専任の集金係員を置き、同時に新しい入会者の増加に努めている現状である。そのため校友会に入会する校友の数は日毎に増加している。

校友会の各種組織の現勢は？

校友全般の現状は、三万数千にのぼる現在の住所判明校友が基になって地域支部七十六、職域支部四係校友会七の組織をもち、その数をあわせると実に百六十三に達し、これらの会が年一回総会を開いたとしても、二百半に一回ずつあるというほど賑やかな現状になった。しかも更に地元大阪には市内各区を殆んど終え、衛星都市郡部毎に支部を結成するため組織部は現在全力をあげている。

校友全体の数は今春卒業者もあわせて約六万七千名にのぼり、明治22年にわずか17名の卒業生を世に送ったことを思いあわせると、その歴史七十余年、力強い歩みをつづけてきたわけである。

全学あげての大事業「関大会館建設問題」

校友会ではすでに戦前に校友会活動の中心となる「会館」の建設を夢みて、会館建設委員会を組織し所期の目的達成に努力を重ねたがその機が熟すにいたらなかった。しかし校友会が戦後の混乱から立ち直り、大学依存の過去に別れを告げ、専任会長のもとに母校の発展に呼応して進歩するようになりプラスされて来た。過去には基金募集に加え、その上に建築専門家数氏を委嘱することになった。

校友会の将来、それは苦難は多いが明るいものがある。現在、校友会事業として最大のものはなんといっても関大会館の建設問題である。早稲田、慶応等が大阪にクラブを設けている現状である。関西大学校友会も、これら他学に負けず、大学当局に協力しての宿願達成へ努力することであろう。

この会館は文字通り校友はじめ大学活動の一中心になり、完成の暁には更に校友会の活動はさかんになり、校友意識が高揚されることは明白である。

また一万母校はどうであろうか。広袤一万坪にのぼる土地に各学舎の新増改築を終り、法文学研究室も目前にその完成を控えている。学舎その他施設に力を入れる一方、教授陣容の強化充実に傾倒しつつありいなる発展が期待されている。また綜合大学として新たに優秀な教授陣容を得て工学部を設置するなど力強い足音が校友の耳に達している。

校友会の足跡をふりかえってみてもわかるように、校友会は母校と共に苦しみ、母校を扶け、母校に協力し、そして共存共栄して来た。

明るい将来の見通し

だが必要な〝若き力〟

その将来

そして、数多会員個々の力であった。そして校友会のこの力は更に多くの入会者を得てますます発展し、偉大なる血縁社会を形成するに至るだろう。

胸に関西大学校友会のバッジをつけた人が大へん多くなった。今春卒業される方々も進んでこの校友会に入会して多くの先輩、同僚と肩をならべ、手を取り合って母校と校友会の発展への努力を惜しまれなかったならば、益々母校、校友会が発展することは明白である。各地支部その他の会も削ぎた現在であるが、大阪府下の衛星都市、郡部単位の支部もいずれ近い将来に全部結成するだろう。地方の県別支部も校友数が増加すれば文字通り活発になるだろうし、支部未設県も皆無になる日もそう遠くはなかろう。

さらに今春御卒業される皆様がたの若い情熱からほとばしる積極的な協力が約束されるならば、母校、校友会の雄飛もまた確実に約束されるであろう。

同窓会に、御商談に、大阪から一番近い
温泉郷、同窓の御方には特別割引
国際観光旅館
錦渓温泉油屋
営業主（昭19卒）山田 清
南海高野線三日市町下車スグ
（ナンバより45分）
電話河内長野 14. 338. 356
大阪案内所 (77) 8590

肩身がひろい

自分は卒業後〝ノラ〟プラしていたがその後自衛隊に入った。そして各地を転々として、最後に北海道に赴いた。

地理的には校の近府県にいても社会的には密な関係でない我々にとって「北海道」はもちろんいうまでもないところと思った。そこで奮発して校友会に入った。北海道へ行ってから毎月「関大」紙が手許に届いた。それを見て同僚が「君は関大か？」ということになり同志社出身の同僚とも親しくなり、数少ないが数人の関大出身者も仲良く団結するようになった。隊長までが「新聞来たら見せてくれよ」といいだし、同僚を廻って手許に帰って来たときは相当たびれているのが常であった。さいはての地北海道の北端で関大の名声があがったのだ。

自分は全く肩身のひろい感じがした。自分はその後二年を経て、思うところあり除隊し帰阪して新しい職業についた。

高校をでただけで自衛隊員として自分と同じく北海道にいたある少年は「僕も関大に入りたいです。満期になれば帰って関大を受けます」といって勉強をはじめた。さいわい自分と同じときに満期除隊になり、同じ汽車で帰って来た。その少年は目を輝かしていた。自分は「遠い北海道で関大の名声を高めて来たゾ」と堂々と胸を張って帰った。【大阪市・K生】

ヤッパリよかった

僕は一昨年卒業し、今ある販売会社に勤めている。校友会へは卒業式の日に友人と〝どうしょう？〟と迷っていたが先輩に〝入会しろヨ〟といわれて〝まあ入っとこうか〟という所へ落着いた。然し何か馬鹿らしい気持もちょっぴりありました。

それから母校や友人ともわかれて毎日忙しい勤務の日が続くようになりました。

しかし入会したおかげで毎月母校の様子や支部、職域会などの活動を満載し、そのうえ恩師の随想、論文などまで掲載された「関大新聞」が送られてくるので、これだけでも入会した値打はあると思うようになりました。会費一カ年三百円は決して高くないと思いました。

しかし入会したが、校友のコネクションが僕の販売関係の仕事にも徐々に役立つようになっている現在を思うと、「馬鹿らしいナ」は吹き飛び「よかったな、ヤッパリ」と思うようになりました。【大阪市・H生】

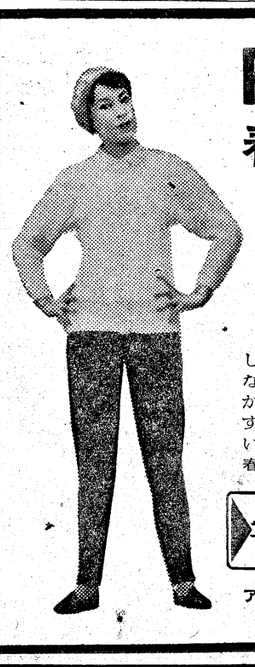
校友分布表

凡例
A……5,000名以上　D……100名以上
B……1,000名以上　E……100名以下
C……500名以上　AAA……15,000名以上
○印は支部既設置・×印は未設
○内の数字はその府県内の支部数

府県名	校友分布	支部の有・無	府県名	校友分布	支部の有・無
大阪	AAA	㉝（但しクラブを含む）	石川	D	①
			福井	E	①
			滋賀	D	①
北海道	E	①	京都	B	①
			奈良	C	①
青森	E	×	和歌山	C	①
岩手	E	×	兵庫	A	⑩
秋田	E	×	鳥取	D	①
山形	E	×	岡山	D	①
宮城	E	×	広島	D	③
福島	E	×	島根	E	①
群馬	E	×	山口	D	①
栃木	E	×			
茨城	E	×	香川	D	①
埼玉	E	×	徳島	D	①
東京	B	①	高知	D	①
千葉	E	×	愛媛	D	①
神奈川	E	×			
新潟	D	×	福岡	D	①
富山	E	×	佐賀	D	①
岐阜	E	①	長崎	D	①
長野	D	①	大分	D	①
静岡	E	×	熊本	D	①
愛知	E	×	鹿児島	E	①
三重	D	③	宮崎	D	①
			朝鮮	D	①

ウロコ印
武田薬品
明日への健康！
すべっても ころんでも ただもう楽しい…このスキーの楽しさは 健康のよろこびといえましょう。健康をまもり 健康のよろこびをいっそう増すために 1日1錠 毎日…強力パンビタンをおのみください。 冬に不足しがちなビタミンが手軽に補えます。
総合ビタミン剤
強力パンビタン
30錠 300円・100錠 850円 ほかに…強力パンビタンM（ミネラル入）
大阪市道修町 武田薬品工業株式会社
(パ22)

Printemps D'Exlan
春はエクスランから
軽く ふっくらと
ソフトなタッチ
色あいの美しさ
しわになりにくく、プリーツや折り目がなかなか消えず、アイロン、洗たくなどの手間がかからないなど……
すばらしい特長から〝繊維の中のエース〟といわれています。
春のよそおいはエクスラン製品のかずかずで
紳士・婦人・子供服地・オーバー
学生服・御召・着物
セーター・カーディガン
メリヤスはだ着・キルティング
ふとん綿など
アクリルせんい
ゆめと化学が生んだ せんいのエース エクスラン
日本エクスラン工業株式会社



数ある〝支部〟の実情や活動

校友会の歴史や現状、そして将来の見通しは本紙一面を御覧いただいて、すでにおわかりのことと思います。そこでこんどは、その校友会員が全国各地にあって、地理的、社会的に如何なる組織をもち、如何に動いているかを説明しよう。

友校会地域支部は一面にものべたように都市、郡部毎に、その区域に居住地または勤務地をもつ校友で組織されているのであり「その歴史」にもなってきたように永い歴史をもつ支部も多い。その中で大阪支部は、そのもっとも大きい組織として半世紀に余る歳月を名実ともに校友会の中心的存在として歩んできた。

その後、卒業生数はますます増加の一途をたどり、広く各地にひろがってゆき各地で支部結成の気運が高まっていった。もちろん地元大阪を中心とした近畿地方の校友数も激増し、それまで大阪市内各区別に支部が全部できていなかったので、昭和32年度にその完成のため立ちあがった。

校友会組織が中心になって市内でまだ支部のできていなかった区の設立発起人を招いて支部設立運動を開始した。その後、この運動は着々効を奏し、大阪市内二十二区中、すでに十九区に支部ができあがった。未設区である北区、城東区、此花区でも結成への準備が進められており近い将来にオール完成に達するだろう。これにひき続いて組織部では、大阪府下各衛星都市、郡部に全部支部を結成するよう働きかけることを開始した昭和33年度の組織部事業の代表的なものである。しかし、これは大阪市内のようには行かず、地域的にも広範、連位置にあり、屋間校友がほとんどいない状態であるが運動は進められ徐々にその成果が上っている。

組織部では[illegible]校友意識を高めるため支部長会議を開いて発展策を構じたり、財務部と協力して校友会員の増加につとめ、その効果も着々とあがりつつある。また強力に働きかけるため広報部とも協力、機関紙「関大」その他の機能を通じて全力をあげている

職域関係では職域支部と職域会がある。職域支部として支部資格を与えているのは現在、大阪府庁、大阪国税局、近鉄の四百名にのぼる校友がいて、強く団結している。その他本紙の支部名簿を見ればわかるようにあらゆる職域に関大会が組織されている。そのほかに同期会がある。これは文字通り、同期に母校をでたものによって組織している会である。古くは明治37年に法律学校を卒業したもので結ばれている三七会を筆頭に、明治に卒業したものでできている会が2、大正時代が10で昭和に入ってずっと多くなって30あり、それぞれ、その年代なりその他、趣向をこらした名称をつけている。そのほか、関係校友会と称する、工専、大学院、二商、関甲、一高、一中、短大…を単位とする会がある。

したがって校友はまず地域支部に入り、自分の勤務先では職域会に加わり、さらに同期の会が結成されれば、それにも参加するというように二三三の組織に加入しているわけである。

次にそれら支部の活動状況を説明しよう。

▼その基本活動

まず支部、職域支部、職域会、同期会、関係校友会の全組織は少くとも年一回の定例総会を開く。そして年間事業計画等を検討し、役員を選出し、いろいろの活動をはじめる。また緊急問題に対しては臨時総会や臨時役員会を開く。そして一年を経て再び総会を開き、事業報告、決算報告を行い、役員を改選する―これがまず基本活動である。

その実際活動を具体的に説明すると次のようである。

▼新入会員を迎える

毎年母校を巣立つ卒業生を支部へ迎えるわけだが、「卒業祝賀パーティー」「新校友歓迎会」などと銘うってさかんに行われる。ここで〝新校友〟は先輩校友と顔合せをし、その〝家族〟の一員に加わる。これは全く〝家族〟の名にふさわしふん囲気のもとで行われる。

▼就職斡旋や紹介

支部の中には新たに卒業する学生の就職を斡旋してくれるところも多い。支部役員の事業所などへ世話してくれたり、その他関係先へ入社するよう尽力することを支部事業としているわけである。

また支部区域内の会社へすでに就職が決定したような場合、支部役員が一緒にでむいて挨拶し、いろいろ世話してくれたり、将来のことを特に依頼してくれたりする支部がある。特に就職が決定し、地方へでてゆくような場合、この事業は新校友に喜ばれる。

▼趣味の会など

支部ではそれぞれいろいろと趣向をこらした面白い催しやクラブを開いている。

その中の一つ二つを紹介すると、趣味の会として、ゴルフ、写真、長唄、旅行、囲碁…その他のクラブを作り、会費を積立ててクラブ活動をしているところがある。旅行クラブなどは月五百円ほどの積立で半年に一度バス旅行や宿泊旅行などを楽しく続けている。

▼若い校友の活動に力を注ぐ

またある支部では校友の青年層で青年学級を作り、先輩、または先輩の聴講による講師が高度な常識講座を開講している。これは職域等によく見られるもので、若い校友には相当役立っていて、非常に評判がよい。

▼支部名簿の発行

各支部がその区域内の校友の動態を把握することが支部活動に必須であることは明白で、そのために各支部とも相当に力を入れ、立派な名簿を発行している支部が大へん多い。活版ずりの立派なものが多く、学歌、学生歌、逍遙歌などを特に入れ、支部会員に重宝がられている。

また、支部会報をだしている支部も多い。タブロイド版、B5判などタイプは数々で、校友自慢の写真をのせたり、俳句、短歌、随想などを掲載し会員に楽しく読まれている。

▼大学への援助

校友会が大学に協力し、その発展に貢献したことはその歴史を見れば一目瞭然とするであろう。遠くは大学発展のために寄附をしたこともあり、過般の母校創立七十周年記念には母校拡充計画の推進力としてこれら各地の組織はあげて募金に応じたのであった。

また一昨年、提唱された「母校を緑に!!」の植樹運動には数多の樹木が寄贈された。皆さまがたが母校のあちこちに「寄贈〇〇会」の立札をたてた木をご覧になったはずで、それがこの植樹運動で寄贈したものである。

校友名簿の見かた

皆様も略記法をおぼえておいてください

関西大学では終戦の混乱を経て昭和28年に戦後第一回の校友名簿を刊行している。その後、昭和31年に第二回目が刊行された。この名簿が現在、最も新しいものであるが、母校校友課では資料の整理、訂正を続け明年第三回目の発行の予定である。これはB5判六百頁をこえる大冊で、掲載されているのは住所判、明校、友である。ご覧になった方も非常に多いことだろうが、その見方をちょっと説明しておく。

まず「卒業年科別欄」であるが、「工専」だ「関甲」だと見なれぬ名があるがこれらはいずれも関西大学またはその前身である法人が設置した学校で、すべて略記されていますので列記しておきます。

法＝関西法律学校で明治22年から明治37年までに卒業している

専＝専門部であって母校に昼間制が敷かれていなかったころ。

大＝旧制大学部卒業の略

専一・専二＝専門部に一・二部(昼夜)の別ができたときからその区別に一・二が付されている。

学一・学二＝新制大学になってからの卒業生である。

院研＝大学院研究科の略。

工専＝関西工業専門学校の卒業生の略。

二商＝関西大学第二商業学校の略。

関甲＝関西甲種商業学校の略で、のち学制改革によって関西大学第一中学校に発展した。

高一・高二＝関西大学第一高等学校の略、下の数字は一時設置されていた二部を区別するため。

短大＝短期大学部の略。

また、年号の次の洋数字は卒業年(年度ではない)を表わします。なかに臨16〇〇というのがでて来ますが、これは第二次世界大戦のため本来なら昭和17年に卒業する予定が繰りあげられて昭和16年12月に卒業したものをさします。

皆さんは、たとえば一部法科であれば【昭34学一法】と略記し、二部文学部英文科であれば【昭34学二英】と書きます。この表記法は住所変更通知などからゆる時にぜひ必要ですから覚えておいて下さい。

関西大学校友会会則

(昭和33年10月18月改正)

第一章　総　則

第一条　本会は関西大学校友会と名づける。

第二条　本会は母校関西大学の隆盛を図り会員相互の交誼を厚くすることを以ってその目的とする。

第三条　本会はその目的を達するために左の事業を行う。

一、機関紙の発行
二、会員名簿の発行
三、会員の懇親並びに慶弔
四、その他本会の目的を達するために必要な事項

第四条　本会は本部を関西大学(大阪市大淀区長柄中通二ノ一二)内に置き支部を必要な地域又は職域に設ける。

第二章　会　員

第五条　左の資格を有するものは本会の会員となることができる。

一、学校法人関西大学の設置する高等学校以上の学校、または前身である法人の設置した学校もしくは関西法律学校を卒業したもの。
二、推薦校友。
三、学校法人関西大学の設置する学校において現在役員および専任の教職員であるもの。

第六条　会員として新しく入会するものは入会金として金参百円を納めなければならない。

第七条　会員は会費を納めなければならない。

第八条　会費は次の二種とする。

一、終身会費金参千円
二、年会費金参百円

年会費は毎年七月末日までに納めなければならない。前項の期日までに会費を納めないものには、これを督促しなお納めないものは完納にいたるまで会員としての処遇を停止する。

第三章　役　員

第九条　本会に左の役員を置きその任期は二年とする。

会　長　一　名
副会長　三　名
常議員　五十名以内
監　事　三　名
代議員　若　干　名

第十条　会長は総会で会員中からこれを推薦する。

第十一条　副会長は常議員会でこれを推薦する

第十二条　常議員及び監事は代議員会で互選によってこれを定める。

第十三条　代議員は総会で会員中からこれを選出する。

第十四条　本会支部の代表者はその任期中職務上これを代議員と認める。

第十五条　会長は会務を統轄し総会、常議員会及び代議員会を招集しその議長となる。

副会長は会長を補佐し会長に支障あるときはこれを代理する。

第十六条　常議員会は会務を処理する常議員会はその運営に必要な規定を設けることが出来る。

第十七条　監事は財務をこれを監査する監事は常議員会に出席し意見を述べることが出来る。

第十八条　代議員会は左の事項を審議する。

一、常議員及び監事の選出。
二、その他重要な事項

第十九条　本会に顧問を置くことができる。

顧問は常議員会の議を経て会長これを委嘱する

第四章　総　会

第二十条　定時総会は毎年一回これを開催する臨時総会は常議員会で必要と認めたときこれを開く。

第二十一条　左の事項はこれを定時総会に提出しその承認を受けなければならない。

一、前年度收支決算
二、財産目録
三、事業報告

第二十二条　総会の決議は出席会員の過半数でこれを定める可否同数の時は議長がこれを決する。

第五章　会　計

第二十三条　本会の経費は入会金、会費その他の收入を以ってこれに充てる。

第二十四条　本会の会計年度は毎年四月一日に始まり翌年三月末日を以って終る。

第六章　支　部

第二十五条　支部の設置は常議員会の承認を得るものとする。

第二十六条　支部には事務所を設け役員を置く

第七章　会則の変更

第二十七条　本会則は代議員会出席者の三分の二及び総会出席者の三分の二以上の同意がなければこれを変更することができない。

付　則

この会則に定めるもの外本会の運営に関し必要な事項は常議員会の議を経てこれを定める。

バッジ礼讃

ある日の通勤途上でのことだった。私の通っている駅は片田舎の駅であって毎日接する人がきまっている。ところが最近、集団住宅地が増えて、朝夕駅には見馴れぬ顔が並ぶようになった。と、ある日、私は駅頭でめざらしく〝関大校友バッジ〟を胸に輝かせた中年の紳士にであった。

〝アレッ〟と思いつつそのまま過ぎたがそれから度々駅頭で相まみえるようになった。

数日たち機会を見て話しかけてみた。相手も私が校友バッジをつけているのを見て同窓だなと親しく思っていたという。満員電車に乗ってからも話ははずみ、おかげで十年の旧知のような親しさになった。その後、朝はよく一緒になり母校の話、校友の話を楽しく続けている。

新しい住宅ができて移って来られた方であった。支部の総会にも誘ってあげたし、音楽映画なども話題にのぼる今日このごろである。

このバッジが胸になかったら恐らく言葉も交さなかっただろうし、何かの機会があってもこんなに速やかに親しさは増さなかっただろうと、時々胸のバッジを指先で撫でながら考えるのである。校友会万歳!

バッジ万歳!

【河内市・F生】

支部に参加するには?

〝もれなき入会〟を期待

御卒業される皆様がたがこの支部に加入されるのにはどうしたらよいだろうか。

下に掲載した支部名簿を見ると支部長名、支部事務所所在地、連絡電話などがわかる。これでハガキなり電話なりで自分の所属支部へ連絡してごらんなさい。必ず総会時には通知をくれ、新入会員として歓迎してくれます。

もちろん、支部の方から丁寧に〝祝御卒業〟の挨拶状が届き、入会の案内をしてくれる支部が大へん多くなりました。皆様がたには必ず同じ区内に、同じ市内にともに卒業する友人がおられることと思います。その友人とともに支部の門をたたいてみて下さい。

職域会の場合も、新入社員中に卒業生がいればもちろん歓迎して、その会の一員として迎えてくれます。このような組織は同一職域内で仕事の能率化や便宜の点からも大へん好都合なものです。

同期会などは既成のところへ首をつっこむというわけにはゆきません。同学部、同学科を卒えたものがよって同期会を設立すればよいまた一校友で、多ければ三ツ四ツの組織に参加している例も数え切れぬほどあります。たとえば住所職域の支部に入り、そして同期会を結成したりというように。

支部では会費はどうでしょうか。これはさまざまで全然会費を徴集しない極くまれな支部もありますが、その例外を別にして、大体、年額一百円から六百円徴集しているようです。これで会報や名簿を発行したり、懇親会開催時の補助をしたりしています。これらはいずれも〝支部活動〟のために徴集する会費で、これでも不足するのが実情で、あとは支部役員が負担したりして活躍を続けています。なおこの支部会費の中に校友会員としての会費(年間三百円)を含んでいるところもあります。五百円、六百円と徴集しているところでは殆んどそんな様子です。これは支部が一括して校友会本部へ校友会員としての会費を納入してくれるわけです。

またすでに入会したのに、支部から本部へ納入する会費もあわせて徴集するようでは二重になるのではないかという例も起ってきますが、これは、支部へ納入になるとき申出られるとよいことになっています。

校友会に入会すると住所職業等の動静も母校でわかり、校友名簿などにも正確に記載されるうえ、いろいろの連絡も途絶えることがありません。

校友の職業は?

六万四千にのぼる現在の校友の職種別比率はどんなものだろうか。これは新しく校友の列に入られる方々にも興味深いことだろう。そこで以前に調査した資料に基づく比率を御紹介しょう。調査対象はもちろん現在住所判明の校友。

公務員(官公立学校の教職員を除く)20・96%、会社員(製造部門17・75%、会社員(商事関係)7・92%、会社員(金融関係)7・21%、会社員(運輸関係)2・61%、教職員7・19%、自由業4・19%、マス・コミュニケイション関係3・84%、自営2・73%、サービス業0・6%、無職及び職業が事務局でわからないもの25・0%となっている。

校友会に入会するには

校友会にご入会なさるには本紙に折りこんでお送りします振替用紙に該当事項を記入のうえ、もよりの郵便局へお持ちになればよいのです。この用紙をお使いになれば払込料金は本会負担です。校友会では入会申込書が到着次第、校友バッジ(純銀製・金箔押文字)をお送りし、一年間、毎月校友会機関紙「関大」をお送り申げます。また一年を経て会費が切れますと本会からご通知をさしあげます。

このほか、昨年から終身会費制を併置いたしました。これは終身会員資格を与え、新聞も永続してお送り申上げることになっています。なおこの場合も入会金は必要です。入会申込受付は前期の振替郵便利用のほか卒業式当日は例年通り第一学舎前で行います。また天六学舎内校友会事務局では毎日受付けていますし、ご面倒な方はハガキまたはお電話でお知らせいただけば集金にも参上いたします。卒業式当日は大変混雑いたしますのでできるだけ振替用紙ご利用の上お手続きしさるようご案内申上げます。

【写真は毎年卒業式当日に第一学舎アーチ下で行われる校友会入会受付風景=昨年度卒業式当日写す】

地域支部名簿

凡例　①事務所所在地・連絡電話番号②支部長氏名・住所・連絡電話番号③副支部長氏名④その他

福　島①大阪市福島区今開町一の三三・山田俊次方・⑭〇六四五②山田俊次③島田大八、羽間平三郎

阿倍野①大阪市阿倍野区阿倍野筋六の三・江村至身方・⑥五一二五②江村至身③鈴木武夫、小鳩竜太郎

住　吉①大阪市住吉区安立町一〇の七〇・島津会計事務所内・⑦五一八六②木下清一郎・帝塚山中四の四七・⑦二八〇③佐野登喜雄、日井隆介、竹内勲

東住吉①大阪市東住吉区山坂町一の六三・⑥一〇〇三②松井剛③深井敏夫、小泉博之

旭①大阪市旭区千林町三の九〇・寺西武方・⑬四五六三②寺西武・③安橋貞雄・東浦栄一

天王寺①大阪市天王寺区北山町二一・秋田友三郎方・⑦九四九一②池田要一郎・南河堀町九三・⑦七五五一④木村橘太郎、藤波一治

西　成①大阪市西成区泉尻町五一・和田栄太郎方・⑭六五二九②和田栄太郎④辻本幸臣、山田信夫

南①大阪市南区日本橋一・鎌田嘉之方・⑭〇〇二一②田中藤作・高津二番町四一・⑮六八七八③中谷政男、鎌田嘉之、滝口武雄

大　正①大阪市大正区泉尾北村町一の二五・横山栄吉方・⑬二〇二三②横山栄吉③井上博道、糸数幸和

西①大阪市西区九条北通二の六八一・⑬〇八二六②礼野茂次③森寿治、大家亀夫

港①大阪市港区市岡元町四の一・弥生館内・⑦〇三七五②佐倉井茂蔵・高尾町一の四三③岡部俊吾、吉田孫一

大　淀①大阪市大淀区本庄川崎町三の二四・中植巻一方・⑦〇一八一②中植巻一③都栄作、西口公教、青山兼祐

東①大阪市東区内平野町一・植田完治方・⑭四一五〇②植田完治③尾坂照雄、竹内幸一郎、片野総一郎

東　成①大阪市東成区北中本町一の四五・樫本信雄方・⑦二一〇三八②樫本信雄③前田軍治、竹内兵司

西淀川①大阪市西淀川区御幣島東二の五・柏原源青株式会社内・⑦一四九二②吉木田雄・野里町四〇一③渡辺治明、池田佐太郎

東淀川①大阪市東淀川区淡路新町六九・矢野文雄方・⑦七二一七②矢野文雄③大西久男、新熊菊次、行俊蕾、宮元民之助

生　野①大阪市生野区新今里町六の二一・馬場次郎方・⑦一七九五②馬場次郎③井上太啓止、北川檜雄

浪　速①大阪市浪速区日本橋筋三の三五・外山与治郎方・⑭一三四九②外山与治郎④長谷川稔、斎藤善三、川野政平

都　島①大阪市都島区高倉町四の一の八五・斎藤幸昌方②斎藤幸昌③奥田甚之助

守　口①守口市浜町一の五八・守口東御坊内②平多喜慶・浜町一の五八④大川原与一、柏原俊孝

堺①堺市大町東四の一四・中村源次郎方・堺五五三②中村源次郎③堀畑岩一、井上専一郎

岸和田①岸和田市宮本町・岸田久馬方・岸和田一〇四七②辻野新一・岸城町一八一③伊藤増一、森田森、松原政治郎

布　施①布施市荒川・布施市選管委・上田虎弥太方・⑫二九八六②空席③広実郁雄、森蕾

豊　中①豊中市岡町南一の一・安富敬作方・豊中三八〇一②安富敬作③榎原武雄

池　田①池田市槻木町一九一六・弓庭元一方・池田三〇三六②弓庭元一③津田彦信、岡村永卓

箕　面①箕面市牧落・市教育委員会・高田明男方・箕面三九②亀井譲太郎・桜ケ丘一五五・桜井五一五③川上主一、野村吉治

高　槻①高槻市新京町一九一の八・脇野徳三郎方・高槻八一六②脇野徳三郎③吉川敬一、星田九一

泉佐野①泉佐野市上瓦屋七六六・松浪圧造方・泉佐野一六六②松浪圧造③藤田泰雄、入江勇

貝　塚①貝塚市脇浜五三・北村専一方・貝塚五一②北村専一③泉谷与一

枚　方①枚方市岡六六五・吉田一郎方②吉田一郎

吹　田①吹田市糸田町三三一六・上野俊彦方②上野俊彦③桓垣幸雄、逢阪勝見、岸田駒太郎

北河内①淀屋川市豊能住宅・荒川虎一郎方・寝屋川一七七②荒川虎一郎

尼　崎①尼崎市西本町北通三六二・浜本組内・貴村一雄方・⑭〇〇五五②松尾高一・神田中通九の二九三⑱〇五六八

西　宮①西宮市六湊寺町六七・雑古貞雄・西宮三七七②雑古貞雄

芦　屋①芦屋市松ノ内町一〇〇・田辺由治郎方・芦屋三二一七②田辺由治郎③竹谷裕至、松田秀彦

伊　丹①伊丹市行基田一六五・磯野充賀方・伊丹四一三四②深川実・大鹿奥谷五・伊丹三一七九③田口正春、平井正彦

川　西①川西市小戸大塚花屋敷聖冒館内・池田二九九三②連井敏雄③米田政和

宝　塚①宝塚市御殿山三四・谷口隆佳方・宝塚三三七八②谷口隆佳③富川竹治郎、杉本信雄

神　戸①神戸市生田区多聞通一の二四・山崎敬義方・④〇四六九②山崎敬義③向井裕亮、水本信夫、星野正身

明　石①明石市相生町一の一三六・片山元蔵方・明石三二〇八②岩佐清三郎・上京区塔の段桜木町四一五・⑤九五九一③中野一雄、山口多賀蔵

滋　賀①近江八幡市魚屋町上三・宮尾一郎方・近江八幡一七三②信正義雄・大津市材木町一九・大津二〇三八③上田武雄、上田啓次

奈　良①奈良市水門町飛鳥院前・吉田孝雄方・奈良四七〇一②高椋正次・北半田西町二六・奈良二九六七③松村常太郎

和歌山①和歌山市雑賀町東ノ丁一・木下会計事務所内・和歌山一〇三二②高垣善一・金竜寺丁六・和歌山二三③辻田義春、北川静雄、宮本嘉蔵

北海道①札幌市大通西十二丁目。中田克己知方・札幌⑬五〇一三②中田克己知

東　京①東京都中央区日本橋本町四の二・太平ビル内・⑬九三〇一③中山善市・北多摩郡小平町・一橋大学前・国分寺一四③甲斐祐夫、田中秀蔵、香西政一

富　山①富山市新新町二五・安田倫蔵方・魚津二三七②児玉信治郎・田地方新町四二・富山七四〇一③宮本五郎

石　川①金沢市片山七二・松屋内小間井与一方②空席③小間井与一

福　井①福井市大和中町四六・中部建設福井支店・山口俊夫方・福井三一五九②小寺藤作(代理)

愛　知①名古屋市中村区弥宜町五の三四・大和商事・白羽弥三方・⑭六四八二②松広寿衛・中川区八熊町苗田二一六・⑫六七九七③照本実、河田短次

岐　阜①岐阜市明徳町一六・渋谷一雄

愛　媛①松山市高木町二七・門屋貴一方②八西忠・持田町一三四・松山二二〇〇③森敬

福　井①福井市大和中町四六・中部建設福井支店・山口俊夫方・福井三一五九②小寺藤作(代理)

鳥　取①鳥取市西町六三・奥沢澄方・鳥取三七四七②奥沢澄③赤鳴宏三、富沢亀吉、橋本喜一郎

島　根①松江市母衣町一一五・中国電力松江営業所・佐野高明方②福田維保・仁多郡仁多町上三所四〇一・八代二一③森山時雄、広瀬重郎

岡　山①岡山市津島福居一二二一・神崎伝次郎方・②八九〇八②神崎伝次郎③井上守三、平尾利雄

広　島①広島市鶴町一三三・今西貞夫方・②一七六二②今西貞夫③梅田鶴吉

呉　①呉市古川町五一・清水鴬夫方・②三五九八②鍵屋豪雄・東片山町八六・②三三六四③清水鴬夫

備　後①尾道市西御所町海岸通一・糸崎海運商会内・尾道三六二②河合衛一・三原市糸崎町五五〇〇・三原三八四六③林哲夫、赤松平代史、坂口昇

門　司①下関市豊町・岡本勲治方②岡本勲治・下関八〇九

関　門①下関市豊町・岡本勲治方

徳　島①徳島市大道町一・斉藤正美方・徳島九一九②三宅二郎・八百屋町二の一〇の三・徳島五五一七③斉藤正美、小寺善二郎、竹内秀太郎

香　川①高松市兵庫町四三・馬場五男方・高松二九九六②馬場五男③福岡良雄

高　知①高知市升形七の一・岡内一郎方・高知二二四一②岡内藤

静　岡①福岡市天神町八八・旭燃料工業・清原俊之助方・④九四三〇②清原俊之助

福　岡①福岡市天神野町二五八・平川徳雄方、佐賀四二二三②永石光雄・伊方里市立花町父七三・伊方里七三一③平川徳雄

佐　賀①佐賀市神野町二五八・平川徳雄方、佐賀四二二三②永石光雄・伊方里市立花町父七三・伊方里七三一③平川徳雄

態　本①熊本市花畑町三・玉屋薬器店・内田義信方・態本二四六七②内田義信③堤治助

長　崎①長崎市船津町一四・長崎日日新聞社・鎌原信生方・長崎四〇〇〇〇②鎌原公生・城山町平和通八八③出浦末広、田口誠

大　分①別府市桜湯通七の二一五〇・野田博方・別府三二四一③野田博方・浦澤美、西村正美、別木静哉、藤原亀夫

宮　崎①宮崎市宮田町二の一〇三・西家幸平方②四家幸平③福倉恒秀

鹿児島①鹿児島市草屋町四五六九・三興商事内・鹿児島二一六六②宮原一(代)

南　勢①松阪市中町一九八九・東商株式会社・小倉俊三郎方・松阪二〇〇〇②湯浅竜内・南町二八の四③後藤達夫、小倉俊三郎

慶　南①韓国釜山市東萊・釜山大学校文理大学内・辺洪燦方②辺洪燦(代)

鹿児島①鹿児島市草屋町四五六九・三興商事内・鹿児島二一六六②宮原一(代)

南　勢①松阪市中町一九八九・東商株式会社・小倉俊三郎方・松阪二〇〇〇②湯浅竜内・南町二八の四③後藤達夫、小倉俊三郎

慶　南①韓国釜山市東萊・釜山大学校文理大学内・辺洪燦方②辺洪燦(代)

神戸市役所関大会①神戸市灘区王子町・市立動物園内・⑧三六一②山本鎮郎・動物園長

産経大阪新聞関大会①大阪市北区梅田町二七・産経大阪新聞内・㉟一二一二②北井勝造・事業部長

毎日新聞社関大会①大阪市北区堂島北四の一・毎日新聞社気付・㉟一二一二②林信夫・連絡部長

鐘紡鐘秀会①大阪市都島区淀川区江口堀北一丁目・大阪日日新聞気付・⑭五五五一②六谷工

兵庫県庁秀麗会①神戸市生田区山手通五の一・人事課内・④七四一・人事課内・④七四一・木藤安之

大阪日日新聞社関大会①大阪市西区江戸堀北一丁目・大阪日日新聞気付・⑭五五五一②六谷工

兵庫県庁秀麗会①神戸市生田区山手通五の一・人事課内・④七四一・木藤安之

大阪市役所支部①大阪市東区大手前之町・府人事委員会気付・⑭〇三五一②柴川喜一・人事委員会事務局長

職域会

凡例　①連絡先・連絡電話番号②代表者・所属部課役職名(但し連絡先と同一の場合は省略)③その他

大阪府庁支部①大阪市東区大手前之町・府人事委員会気付・⑭〇三五一②柴川喜一・人事委員会事務局長

大阪市役所支部①大阪市阿倍野区阪南町中一の四七・区役所内・⑱五、三一②村上精三・阿倍野区長

大阪国税支部①大阪市東区杉山町一・大阪国税局法人税課気付②前川太良右門・法人税課長

近鉄関大支部①大阪市天王寺区上本町六丁目・近鉄本社・田中正春方・⑦三三二一③甲沢俊雄・土地営業課長

大阪高裁関大会①大阪市北区若松町・大阪高裁事務局内・㉟一二八一②長谷川秀雄

大阪地裁関大会①大阪市北区若松町・大阪地裁内②竹沢喜代治・判事

大阪郵政関大会①大阪市東区京橋二・大阪郵政局人事課気付・⑭六一五一②井上竜男・文書課長

西宮市役所関大会①西宮市六湊寺町・市人事課気付・西宮⑧五七五一②古林正久

吹田市役所関大会①吹田市三六六八・吹田市役所気付・㊳二一三一②川喜多冥一郎。収入役

堺市役所関友会①堺市南瓦町三の五一・堺五〇六九②岡本通・企業局長

山陽電鉄関大会①神戸市長田区御屋敷通三の二・山陽電鉄総務部調査課内・⑦一四三四②小坂徹

日立造船関大会①大阪市北区中之島二・日立造船生産管理室気付・㉓八〇五一②木藤安之

大阪中央市場芦友会①大阪市福島区下福島三の三八・大阪中央冷蔵内・㊴〇三六三②堀越源治郎

大阪機械製作所関大会①大阪機械製作所内・㊼一一三一②今井康兼・常務取締役

朝日新聞社関大会①大阪市北区中之島三・朝日新聞社気付・㉓〇一三一②弘末正彦・会計部出納課長

農林省大阪食糧事務局関大会①大阪市南区安堂寺橋通三の一五・大阪食糧事務所気付・㊳六三五一②伊達重雄

日本国有鉄道関大会①大阪市北区大深町・国鉄関西支社審査統計室気付㊱一三六一②松村睦鴻・鉄道弘済会

近畿電気通信局関大会①大阪市北区中之島六・近畿電気通信局経理部主計課気付・㊹一〇三一②伊谷田勲

神戸市役所関大会①神戸市灘区王子町・市立動物園内・⑧三六一②山本鎮郎・動物園長

産経大阪新聞関大会①大阪市北区梅田町二七・産経大阪新聞内・㉟一二一二②北井勝造・事業部長

毎日新聞社関大会①大阪市北区堂島北四の一・毎日新聞社気付・㊱一二一二②林信夫・連絡部長

鐘紡鐘秀会①大阪市都島区淀川区江口堀北一丁目・大阪日日新聞気付・⑭五五五一②六谷工

大阪日日新聞社関大会①大阪市西区江戸堀北一丁目・大阪日日新聞気付・⑭五五五一②六谷工

兵庫県庁秀麗会①神戸市生田区山手通五の一・人事課内・④七四一・木藤安之

朝日生命千里山会①大阪市南区長堀橋三の二四・朝日生命気付・㉗五三四②広田憲信

大阪府下教職員秀麗会①大阪市住吉区東長居二〇〇・長居小学校内・㊲二五〇五②戸川一雄・校長

尼崎市教職員関大会①尼崎市西大物町八四・城内中学校気付・㊽二一一三②中西嘉人

北浜関大クラブ①大阪市東区北浜二の四六・光亜証券気付・㉖三八五四②竹本弘治

法曹千里会①大阪市北区堂島上二の三九・毎日産業ビル六階・㊱五一四〇②徑本信雄

関大近畿計理士会①大阪市北区鴫屋町一〇・㊷二九七②長柄金吾

関大三商燦原会①大阪市北区若松町三八・㉞六一一四②阿久根幸吉

粧業関大会①大阪市東区南久宝寺町一・保利新分店内・㊱七七九五②駿地正良

大阪市内中学校教員関大会(尚志会)①大阪市阿倍野区北畠東一の二八・阪南中学校内・㊱九〇四七②後藤正身・校長

関芦会①芦屋市精道町九三・芦屋市役所内②四村正雄・民生部衛生課

京阪電鉄秀麗会①大阪市東区京橋一の五一・㉞四五三一②山本恭一・資材部長

関大大阪クラブ①大阪市大淀区長柄中通二の十二・関西大学内・㊱二〇七二②甲斐平吉

同期会

▽三七会(明37法・村尾静明)▽四三会(明43専・卞条小野右衛門)▽正二会(大2専・中村公男)▽大三会(大3専・松本芳太郎)▽大四会(大4専・空席)▽六念会(大6専・横田長次郎)▽甲子会(大13専法・広実郁雄)▽十三会(大13専商・細戸男)▽十四会(大14専・岸田駒太郎)▽千里山いちに会(昭2大・神保敏男)▽はじめ会(大15二商・置田徳次郎)▽一五法会(大15専・真鍋竹治郎)▽千里山昭3会(昭3大・櫻本信雄)▽昭三会(昭3専・南清)▽尚志会(昭4大・加来秀介)▽斯文会(昭4専文・安井章吾)▽昭六会(昭6大・上野俊彦)▽昭七会(昭7大・米田恒治)▽昭八会(昭8大・浦野健二郎)▽祥久会(昭9大・河内兼三)▽甲戌クラブ(昭9専・藤田令九)▽桃源会(昭10大・津田弘)▽千里山十二会・長柄金吾)▽五二経会(昭3専二経・平沢農一)▽友粋会(昭13専二商・森田文一郎)▽春秋会(昭14大・保井剛一)▽双竜会(昭14専・坂本竜夫)▽桃源会(昭15大・岩本公夫)▽喜楽会(昭15専一・山崎哲夫)△十二会(昭15専一・松下忠田)▽十六会(昭16大・田中一郎)▽十八会(昭18大・田村徳夫)▽童の薬会(昭19大・天正春男)▽十九学会(昭9専二国・北川英太郎)▽関友会(昭20専一・寺西武)▽二三会(昭23予科・佐伯博臣)▽一灯会(昭23専二経・谷口吉信)▽二六会(昭24大・寺西武)▽一期会(昭27短大一・木村吾郎)▽志学会(昭31短大一・三宅啓正)▽千里山一桃会(昭2・和田栄太郎)▽年輪会(専一・木藤安之)

大正火災

取締役社長　中山幸市

ジュピターカーボン紙

帝国カーボン紙株式会社　取締役社長　北原元茂

ペンの王様ライオン

ライオンペン

近代人のセンスに

ピッタリ!

清潔でエレガントなおしゃれこそ近代人の身だしなみと云うものです

さわやかな香り、美しい仕上りのシボレーポマードで御整髪下さい

パリー好みの粋な香り……

シボレーポマード

100円・150円・200円・300円